

教育学演習Ⅰ

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

木谷 厳

1. 授業の概要(ねらい)

『ハリー・ポッター』シリーズなど、学校を舞台にした小説や映画を題材として、英国の教育に主眼を置きながら、英語圏の社会・文化について学ぶ。

授業では、おもに日本語文献(場合によって英語文献も補助教材として使用予定)の購読を中心とし、毎週担当者がレジュメを用意して発表をおこなう。その後、全体でのディスカッションに入る。

学期末にはレポート課題を出す。同時に、ここで「アカデミック・ライティング」の技法も集中的に学ぶ。

2. 授業の到達目標

・上記の事柄についての調査・発表をおこなうことを通じて、報告側も聴く側も楽しみながら異文化についての理解を深めることができる。

・また、本演習では社会に出てからも役に立つアカデミック・スキルズ(「わかりやすいプレゼンテーション資料の作り方」、「文献の探し方、まとめ方」、「パラグラフ・ライティング」など)をより深く学ぶ。

3. 成績評価の方法および基準

課題発表を含めた授業への積極的な参加(50%)、学期末レポート(50%)。

4. 教科書・参考文献

教科書

板倉 厳一郎 『大学で読むハリー・ポッター』 松柏社

参考文献

J.K. Rowling 『The Harry Potter Series』 Bloomsbury

Beatrice Groves 『Literary Allusion in Harry Potter』 Routledge

Kimberley Reynolds 『Children's Literature: A Very Short Introduction』 Oxford University Press

5. 準備学修の内容

各回で扱う事柄について、2週間前から資料を配布し、その要約課題を課す。発表担当者には、とくに入念な準備をしてくことを望む。その後、要約課題についての解説もおこなう。

6. その他履修上の注意事項

セミナー(ゼミ)は、専門的な内容について少人数で濃密に学ぶことのできる貴重な場であるので、毎週必ず出席することを求める。発表およびその内容についてのレスポンス、ディスカッションなど、受講生の積極的な参加を望む。

7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション——プレゼンテーションの方法と資料の探し方

【第2回】 発表デモンストレーションとディスカッション

【第3回】 発表とディスカッション(1)第1グループの発表

【第4回】 発表とディスカッション(2)第2グループの発表

【第5回】 発表とディスカッション(3)第3グループの発表

【第6回】 発表とディスカッション(4)第4グループの発表

【第7回】 中間まとめ

【第8回】 発表とディスカッション(5)第5グループの発表

【第9回】 発表とディスカッション(6)第6グループの発表

【第10回】 発表とディスカッション(7)第7グループの発表

【第11回】 発表とディスカッション(8)第8グループの発表

【第12回】 レポートの書き方(1)資料の読み方とまとめ方

【第13回】 レポートの書き方(2)レポートの構成について

【第14回】 レポートの書き方(3)レポートにおけるさまざまな引用

【第15回】 全体のまとめ

※状況に応じて順番や内容が変わる可能性もある。